

# Who is it?

インフロニアとは何者か？

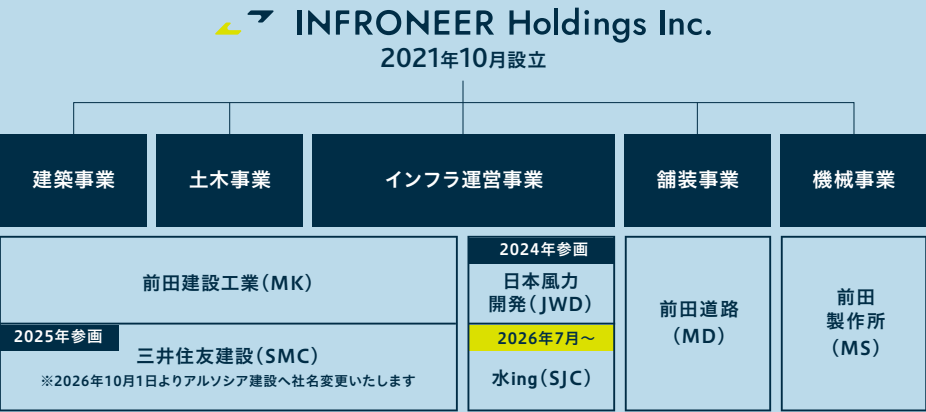
A.

## 日本初の総合インフラサービス企業

「つくる」「建てる」から「価値を生み出す」インフラへ

今、インフラ\*の老朽化、少子高齢化、担い手不足、自治体の財源不足などの社会課題によって、当たり前だった地域社会の安全性や快適性がゆらぎ始めています。インフロニアは、ものづくり・建設事業（請負）により長年培ってきたエンジニアリング力\*と地域ネットワークを強みとし、運営・サービス面（脱請負）までを包括的に担うことで、人々の暮らしや地域経済を支えます。

➤ ※インフラ、エンジニアリング力（用語集 P.94）



建築、土木、舗装、機械及びインフラ運営を主要事業とし、リテール事業や不動産事業等、幅広く展開しています。インフロニアは、一つひとつの事業に誠実に向き合いながら企業価値向上に努め、グループが一体となって地域・社会と共にある企業として、インフラサービスの未来に挑んでいきます。

請負

脱請負

### 脱請負とは

「脱請負」という言葉には、従来の請負事業だけでなく、事業者としてプロジェクトのリスクを取るという意味が込められています。具体的には、空港や上下水道、有料道路のような公共インフラの運営権を取得し建設、運営、維持管理を手掛けるコンセッション事業や、事業開発・建設から維持管理・運営、売却までの事業投資を行う再生可能エネルギー事業などのビジネスを意味しています。

請負事業で長年培ったエンジニアリング力と共に、金融ノウハウを活用することで、リスクを最小化し、大きなリターンを生み出すことを可能にしています。

### 島耕作がインフロニアの社外取締役役に就任！

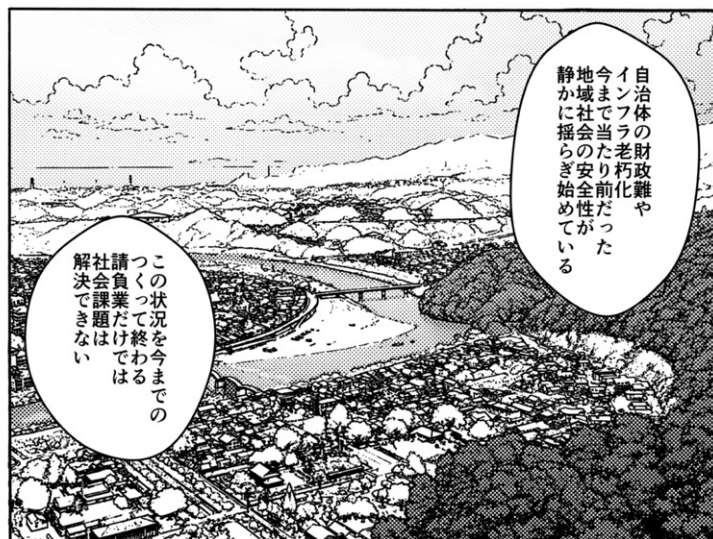


次々と訪れる難題に持ち前の行動力と人間力で道を切り開き、社長そして相談役まで昇り詰めてきた島耕作。長年勤めたテコットを辞し、新たに「社外取締役」の道を選ぶことに。数多のオファーの中で次に選んだ道は一。

©弘兼憲史／講談社

『島耕作』とは

シリーズ累計発行部数4,700万部超。大手電機メーカー「初芝電器産業」に勤める島耕作が活躍する姿を描いた弘兼憲史の人気シリーズ。シリーズを重ねるごとに、グローバルな展開を広げ、経済、政治情勢を交えたビジネス漫画の金字塔となる。



人物紹介



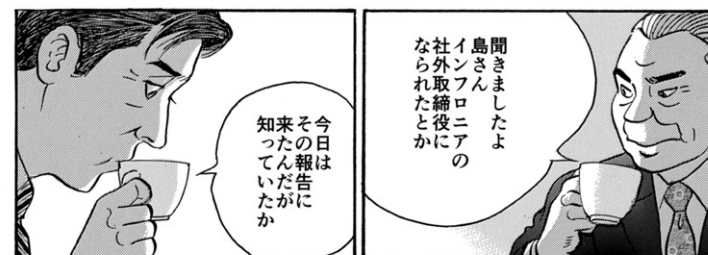
国分 圭太郎

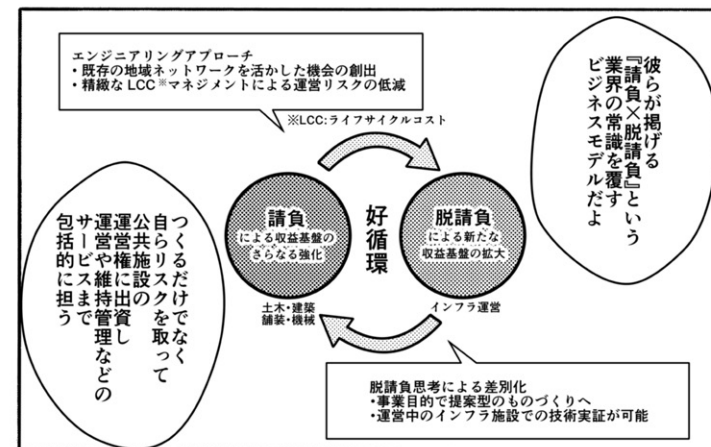
テコット2代目社長。現会長。島の右腕として数々の危機を鎮圧した傑物。



四谷 嵐子

テコット4代目社長。初芝取締役や大学学長を経て社長に就任。政官財に精通する才女。





## Chapter 3

# 価値創造ストーリー

この章では、「企業価値」を向上させる価値創造ストーリーについて説明しています。  
インフロニアの企業価値とは、インフラサービスで社会を変革することです。  
その取り組みをご紹介します。



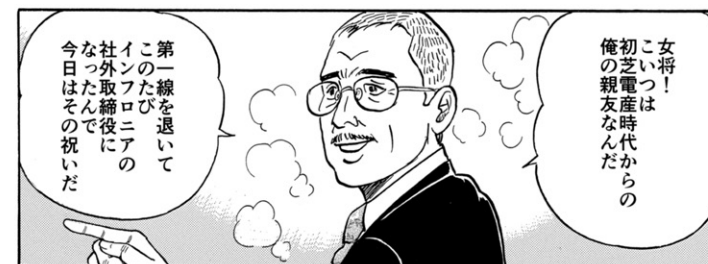
- 16 インフラを取り巻く社会課題
- 17 価値創造プロセス
- 18 インフロニアが目指す社会  
サステナビリティステートメント
- 20 成長を支える6つの資本
- 22 インフラの未来に挑む、  
ビジネスモデル・競争優位性
- 25 マテリアリティ・KPI
- 28 企業価値向上の取り組み  
水インフラ事業

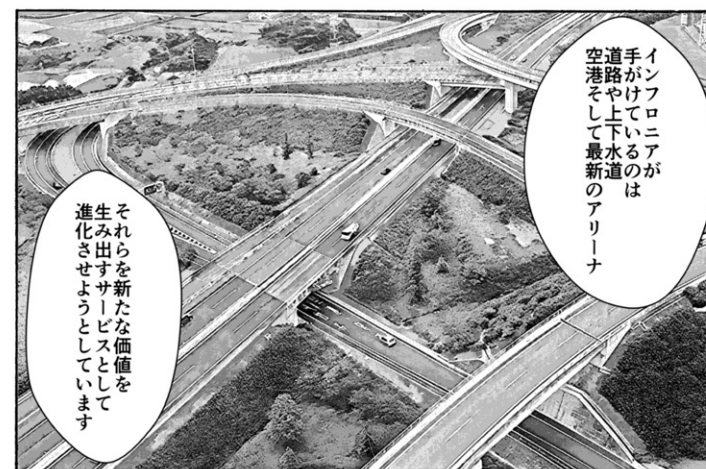
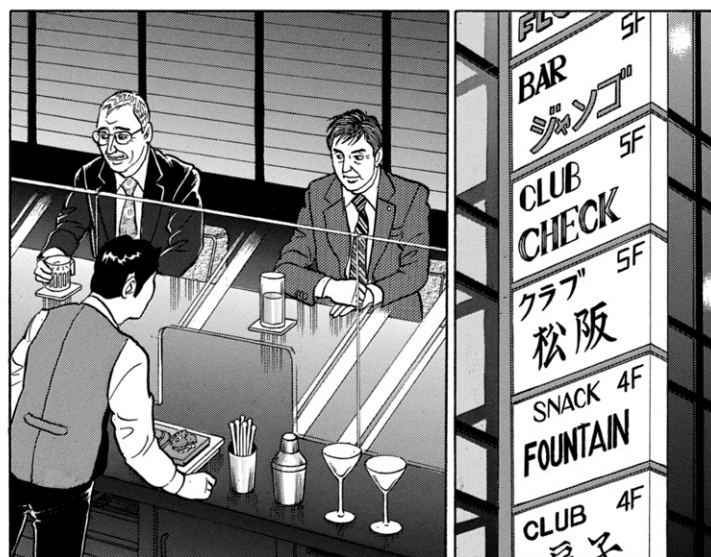
島耕作が関心を示す「総合インフラサービス」  
という革新的モデルとは何か？  
社会課題の解決と新たな価値創出を  
実現しようとする企業像に迫る！



平瀬 健一

島の初芝時代の同期で盟友。ハツシバ・フランスの社長を経て、退職後は介護会社の起業やUEMATSUの社外取締役を歴任。







ああ



## Chapter 4

# 成長への投資戦略

この章では、計算式における「利益率」「期待成長率」を向上させる成長への投資戦略について説明しています。日本風力開発や三井住友建設、水ingのグループ化を通じて、利益拡大フェーズに向けた準備を着実に進めています。

$$\begin{array}{c} \uparrow \\ \text{企業価値} \end{array} = \begin{array}{c} \text{利益率} \uparrow \\ \hline \text{資本コスト} \downarrow \end{array} - \begin{array}{c} \text{期待成長率} \uparrow
 \end{array}$$

34 中期経営計画と2030年度に向けたロードマップ

36 成長投資戦略

37 財務戦略・財務担当役員メッセージ

40 コラム 水ing 紹介

41 シナジートピックス

42 事業会社2社トップ対談

44 インフロニアグループの事業紹介

46 建築事業

48 土木事業

50 インフラ運営事業

52 舗装事業

54 機械事業

56 成長を加速させるドライバー〈IT・DX戦略〉

58 成長を加速させるドライバー〈人材戦略〉

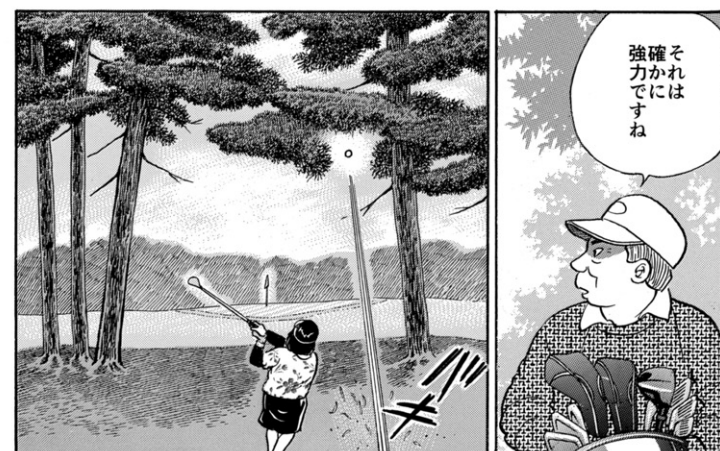
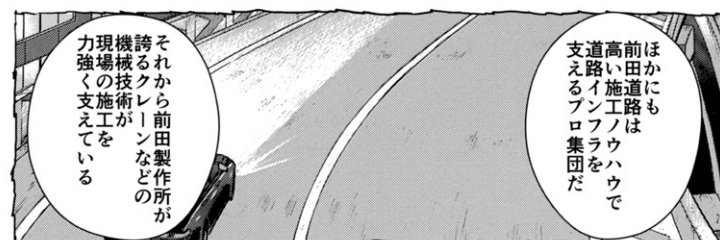
61 海外戦略

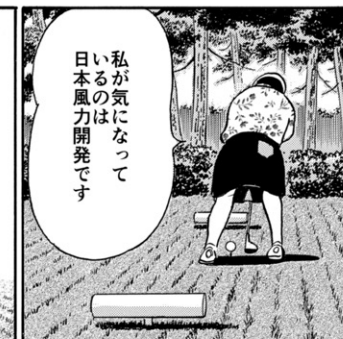
62 特別対談 インフロニア×日立製作所

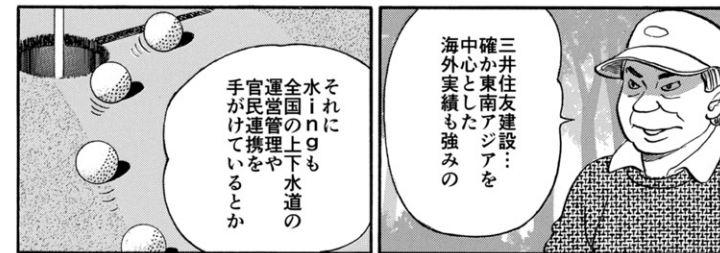
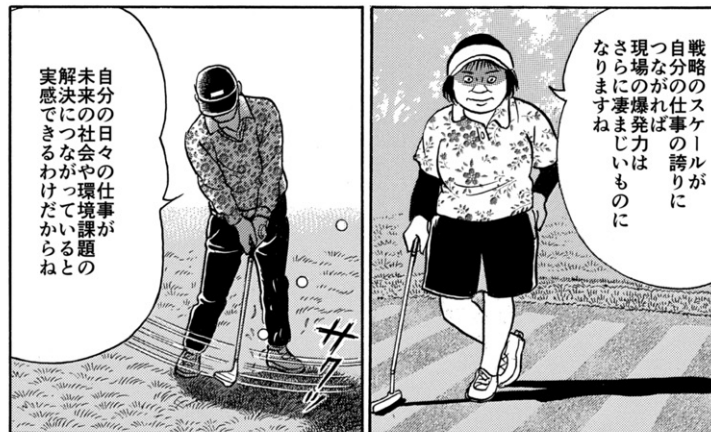
大型M&Aや再エネ投資の意義とは？

総合インフラサービス企業としての

成長戦略と将来像に迫る！







## Chapter 5

# 価値創造の基盤強化

この章では、計算式における「資本コスト」を低減させる価値創造の基盤強化について説明しています。  
社会と市場の期待に応える持続可能な企業基盤を構築し、インフロニアグループに関わる全てのステークホルダーと地球のサステナビリティ実現に向けて挑戦します。



- 70 サステナビリティ戦略
- 71 ステークホルダーとの対話
- 72 社外取締役座談会
- 75 ガバナンス
- 84 環境
- 88 社会

島耕作はインフラの長寿命化や持続的な運営を支える  
事業そのものに社会的価値があることを語る。  
当たり前の暮らしを支えるインフロニアが考える  
サステナビリティとは?!



※PPP/PFI推進アクションプラン、ウォーターPPP、スタジアム・アリーナ改革、サステナブルファイナンスの推進など



鏡 晴美

島の課長時代の元部下で3代目社長の右腕として活躍。  
その高い能力を買われ、テコット5代目社長に就任した。

